

ながさき

No.151

2016.2.1

市議会だより

～長崎ランタンフェスティバル～

平成28年2月8日～2月22日

長崎の冬の一大風物詩。期間中、市内中心部に飾られる極彩色のランタン（中国提灯）と、さまざまなオブジェがまちを幻想的に彩ります。

主な掲載内容

	P
○新市立病院建設工事に関する調査・議案審議結果……………	2
○平成27年11月定例会の一般質問 ……	2
○平成26年度決算審査の主な内容 ……	6
○平成27年11月定例会の委員会審査の主な内容……………	8
○平成27年の長崎市議会 ……	10
○全員協議会・議員提出議案・陳情など…	12

本会議の様様を長崎ケーブルメディアやインターネットで生中継しています。

また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。You Tube(ユーチューブ)でも視聴できます。

長崎市議会

検索

新市立病院 建設工事に関する 調査・議案審議結果

新市立病院駐車場棟については、建設予定地に雨水渠が埋設されていたことにより完成時期が延期になりました。これに伴い、関係する議案が11月定例会に提出されました。

また、議案審議に先立ち、雨水渠損傷に係る事故の原因やその後の経過について調査を行うため、関係する教育厚生委員会と建設水道委員会による連合審査会を開催し、所管事務調査を行いました。

連合審査会

調査の結果、次のことが判明しました。

- ・市が伝えるべき情報を施工業者に提示していなかったことに端を発していること
- ・下水道台帳における雨水渠の位置の誤りは、市の検査が不十分であったことが原因であること
- ・1本目の杭工事後、施工業者は病院機構に報告しているが、病院機構は工事の中止や調査などの指示を行っていないかったこと
- ・1本目の杭工事後、建築部は病院機構から報告を受けていたが、有効な意見や指示を出すことなく、関係部局との連絡相談を行っていないかったこと
- ・調査により雨水渠であることを確認したのは、市



▲連合審査会の開催は、昭和49年以来、41年ぶり。(現地調査は除く。)

- ではなく施工業者であること
- ・現在行っている復旧工事は、市からの依頼があったわけではないが、市からの相談があり、施工業者が自主的に着手していること
- ・費用負担割合を1対1とすることについては、あくまでも市の見解であり、施工業者との合意形成はなされていないこと

教育厚生委員会

第210号議案 地方独立行政法人長崎市立病院機構中期計画の変更の認可について

◎ 議案概要

駐車場棟の設計変更及び工期の延長に伴う中期計画の変更の認可に関して議会の議決を経ようとするもの

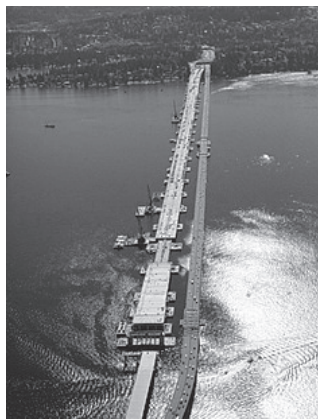
◎ 審議結果

雨水渠損傷について、全ての原因や責任の所在が明らかになっていないことから、現段階で本議案についての議論はできないとの反対意見が出され、賛成なく否決すべきものと決定しました。



▲長崎独特のまちなみ

たい。
るなど、平成28年度中の策定を目指したい。
学識経験者などによる委員会を開催する
庁内での協議を進めている。今後は、まちづくり的な視点が重要であるため、り、また、文化的な内容とともに、の指導を受けながら作業を進めてお計画の策定にあたっては、関係省庁致維持向上計画の策定を行っている。



▲シアトルで工事中の浮橋

研究会において調査研究が行われている。長崎市としては大村市からその情報を提供を受けながら、浮橋架橋の理解を深め、課題等の整理を行う必要がある。まずは、経済波及効果等の調査を行いたい。

11月定例会の一般質問

明政クラブ

歴史的風致維持向上計画

問 地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、地域を守るために、歴史的風致維持向上計画の認定を受け、国の支援を受ける必要があると考えるが、市としての考えを伺いたい。

答 長崎の国際性豊かな歴史や文化を活かし、個性あふれる魅力的なまちづくりを推進するため、現在、歴史的風致維持向上計画の策定を行っている。

大村湾横断浮橋架橋への取り組み

問 浮橋架橋は、琴海地区や外海地区を含めた西彼杉半島全体が発展するための起爆剤として、また、産業・農林漁業・観光・人口減少対策として有効であると考えるが、見解を伺いたい。

答 浮橋架橋は、琴海・外海地区を初め、市や県にとっても、観光や産業等の活性化につながる夢のある構想である。しかし、ルートや工法、整備費用や整備効果の検証など、多くの課題があるため、平成26年7月に大村市で設立された大村湾フローティングブリッジ研究会において調査研究が行われている。

行政サテライト機能の再編成

問 平成27年6月に総合支所の設置を先送りして、専門職員を配置する「基地」を置くとの説明があった。設置の意義、地域住民への効果や有益性をどのように考えているのか。

答 将来の長崎市を見据えた、支所、行政センター、本庁の機能の再編成においては、現在の支所や行政センターを身近な手続きや相談ができる「新たな支所」として整備し、また、一定の規模を持ち、仕事の決定権を有する「総合支所」を市内に複数箇所、設置することとしている。

この再編成は、市役所のしくみを大きく変えようとするものであり、機能や体制の設計に相当な時間を要することから、総合支所の設置前に「基地」を設ける考えだったが、総合支所の形がある程度見えてきたことから、「基地」は置かず、早期に再編成の具体案をまとめ「総合支所」を整備することとしている。この再編成が市民サービスに支障をきたさないようしっかりと組み立てていきたい。

グラブスカイロードの有効活用

問 市民や多くの観光客が利用している斜行エレベーターは、年間約1千万円の維持管理費がかかる。ゴンドラから見える壁に、企業等の広告を載せて収入を得るなどの考えはないか。



▲グラブスカイロード

答 広告収入については、市有財産の活用や新たな財源の確保といった観点から有効な手段であり、また、利用者に対して、一定の広告効果が見込めることから、今後、道路占用許可や、周辺の景観との調和の関係、広告を出す場所や大きさ、内容などを整理し、実施に向けて取り組んでいきたい。

市民クラブ

放課後児童クラブ支援員と民間保育所保育士の待遇改善

問 放課後児童クラブ支援員の処遇改善のため、市は積極的な関与と指導が必要ではないか。また、この1年で保育士の処遇改善にどう取り組んだのか。

答 放課後児童クラブ支援員については、国の補助メニューに職員の賃金改善等への補助が追加されたことから、これを踏まえて、市の補助制度を改正することで処遇改善につながると考えている。市としては、補助金の具体的な内容について、クラブの事業者に説明し、理解を深めていただくよう努める。



民間保育所に勤務する保育士については、新たに創設された施設型給付の処遇改善加算において充実が図られている。賃金や正規・非正規などの雇用形態は、各施設の雇用契約に基づくものではあるが、保育所等の関係者とともに処遇改善につながる取り組みを検討したい。

水道管破損事故と市民生活への影響

問 平成27年11月20日に発生した事故の原因と、今後の更新計画及び野母崎宿線と長崎外環状線の道路整備状況もあわせて伺いたい。

答 破損した管は、昭和40年代に布設しており、破損の原因は老朽化に伴う自然破損と考えている。また、耐用年数とされる布設後40年を経過した管は、昭和43年度から計画的に布設替えを行っているが、今回の事故や緊急点検結果などを踏まえ、優先順位の見直しを行うなど、再発防止に努めたい。



▲水道管復旧工事の様子

また、長崎県において、野母崎宿線は、順次整備が進められており、長崎外環状線の新戸町から江川町は、平成28年度当初予算案の新規事業予定箇所とすることが発表され、事業着手に向けて大きく前進した。今後とも、整備促進に向け、働きかけていきたい。

被爆二世の数及び生活と健康についての実態調査

問 独自の援護対策を行うために、被爆二世の実態を把握し、それを踏まえた対策を検討すべきと考えるが見解を伺いたい。

答 援護対策については、被爆者対策と同様に基本的に国の責任においてなされるべきと考えている。また、実態調査についても、被爆二世は全国的に居住していることや、定義や認定の法的な枠組みがないなど様々な課題があるため、1自治体で行うのではなく、国においてなされるべきと考えている。

しかし、実態調査は援護対策を行うための基本的なデータとして必要であると考えており、被爆二世団体の皆様との定期的な意見交換も行いながら、国に対して要望を行っていききたい。



「まち・ひと・しごと創生」の鍵

問 経済を強くし、雇用をつくることと目標があるが、三菱重工幸町工場の閉鎖が市の経済に及ぼす影響及び新幹線工事の残土活用による工業団地造成計画の進捗状況について伺いたい。

答 幸町工場の機能は、平成29年度末までに再編が完了すると聞いていたが、その詳細が明らかにされていない部分もあり、移転が市税に与える影響は不透明であるが、再編により業績向上が期待される。今後の動向について、引き続き注視していきたい。

また、新幹線残土を活用した工業団地造成については調査をもとに田中町を最適地と判断し、整備を進めている。現在、用地交渉中であり、その手続きに、まだ若干の時間を要する見込みだが、平成28年2月議会に本事業の土地取得議案の提出を予定している。

公明党

夜景視点場へのAEDの設置

問 観光の大きな柱となっている夜景観光の拠点である稲佐山展望台及び鍋冠山展望台にAEDを設置し、市民や

観光客の安心安全を守る必要があると思うが、市としての考えを伺いたい。



AED

▲表示マークの例

答 稲佐山展望台付近のAED設置場所は長崎ロープウェイ駅舎であるが、駅舎の改修工事に伴い、現在は使用できない。ロープウェイの営業再開時には使用可能となるが、展望台はロープウェイの営業時間終了後も利用できることから、AEDを駅舎から展望台に移設する方向で早急に調整したい。

また、鍋冠山公園についても、展望台改修後はより多くの観光客が見込まれることから、設置に向け検討したい。

軍艦島における多言語音声コードの導入

問 スマートフォンを用いてコードを読み取るにより、最大28言語で音声ガイドサービスが利用できる技術を端島見学施設(軍艦島)に導入する考えはないか。

答 多言語コードによる音声ガイドサービスの提供は、利用者に対する案内を充実させる有効な手段であり、電源を用いないことから、端島見学施設におけるサービスの中でも優位性があると思われる。

このことを、軍艦島クルーズの各運航事業者に対して情報提供した結果、現在この事業者で組織される「軍艦島観光船協議会」から、文化庁に対して補助金の交付要望が行われている。

今後も、新たな技術に関する情報収集などを行いながら、受け入れ態勢の整備を進めていきたい。

城山小学校被爆校舎の保存活用

問 長崎原爆の凄まじさを今に伝える貴重な被爆構造物である城山小学校被爆校舎の早期修復と未公開部分の活用について、市の考えを伺いたい。

答 城山小学校被爆校舎については、より手厚い国の支援が受けられる文化財指定を目指している。校舎の経年劣化には応急的な補修が必要であり、補修のあり方について文化庁と協議を進めている。厚生労働省が予算化を進めている被爆建造物保存のための新たな補助制度についても、活用できるように協議していきたい。

また、非公開としている校舎の3階以上の部分については、被爆当時の現状に近い形で保存されており、その価値が高く評価されている。一方で、公開には安全確保など解決すべき課題はあるが、今後、検討していきたい。

創生自民

長崎版地域包括ケアシステムの構築

問 超高齢社会へ対応するための地域の実情に合ったシステムの実現に向け、どう取り組もうとしているのか。

答 システムの中核を担う地域包括支援センターでは、高齢者の総合相談窓口として必要な支援を継続的に行い、医療・介護の連携強化に向けた地域ケア会議の開催などを行っている。

また、平成27年10月には、医療、介護・福祉等の専門職や地域関係者などで構成する「長崎市地域包括ケア推進協議会」を設置したところである。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けていただけるよう、医療・介護・福祉での既存の取り組みを活かしつつ、連携を強化し、進化させながら、人材の育成や確保策、必要な社会基盤の整備などを含めたシステムの構築に取り組んでいきたい。

スポーツコンベンション

問 スポーツをコンベンションと捉えることで、地域の活性化や国際的地位の向上など、地元経済の活性化につなげることができるが、市の姿勢と具体的な取り組みについて伺いたい。



▲視察団表敬訪問

リンピック等の
キャンプ誘致につ
なげていきたいと
考えている。今後
とも、スポーツコ
ンベンションの取
り組みの強化をし
ていきたい。

日本共産党

三万山の産業廃棄物処理

問 ここにある産業廃棄物が詰まったコンクリート柵は、万が一崩壊すれば汚水が流出する危険がある。市や事業者、国の責任で早急に処理する考えはないのか。

答 長崎市では、定期的に検査を行っているが、その結果、コンクリート柵の安全性は保たれており、早急な処理の必要性はないものと判断している。事業者の責任については、当時の廃棄物処理法で認められた方法であることなどを勘案すると、負担を求めることは難しい。

また、市と国についても、その責任を問う訴訟において、原告の請求が放棄されたことから、法的責任はないと認められたものと判断している。

しかしながら、市としても、引き続き、立入検査や水質検査などによる適正な監視及び結果に基づく適切な対応を行っていききたい。

大神宮交差点の改良計画

問 滑石の大神宮交差点は、渋滞が起きやすい状況である。県道側の拡幅が計画的に進められているが、市道側においても、早期改善が必要ではないか。

答 大神宮交差点は、滑石地区と三重地区を結ぶ県道長崎崎刈線及び滑石地区と横尾地区を結ぶ市道滑石横尾線とが交差している。

県道においては、渋滞の改善のため、現在、県が拡幅整備を進めている。

一方、市道においては、横尾方面から三重方面へ向かう右折車線がないこと、また、交差点付近のバス停にバスベイがないことから、交通渋滞が発生している。

そのため、市道においても、右折帯及びバスベイを整備することとしており、今年度に入



▲大神宮交差点(市道側)

地を取得し、平成28年度の完了を目指している。

自由民主党

大型公共施設事業計画

問 公会堂や市庁舎を初めとした大型公共施設の整備が進んでいない。市長の強力なリーダーシップが問われる中、まちづくりについての決意を伺いたい。

答 公会堂廃止後の新たな文化施設については、県庁舎跡地での整備について県との調整を行うこととし、現在も協議を続けている。市民や文化団体の皆様のため、建設場所の方針を一刻も早く決定し、市庁舎建設事業と併せて進めていく必要があると考えており、県との協議を継続して進めるか、現市庁舎跡地とするかの結論を年度内までに出したい。

いずれにしても、これらは、都市の基盤をつくる重要な事業であるため、方向性をしっかりと固め、着実に進めていきたい。また、



▲公会堂

公会堂解体と市庁舎建替えの予算や関連議案については、新たな文化施設の建設場所の方針決定後、できるだけ早い時期に提案したい。

チーム2020

アメリカ大統領の長崎訪問要請

問 単に被爆地訪問を要請するだけでなく、例えば、2020年8月9日の東京オリンピックの閉会日に合わせて、長崎復興への世界からの寄付に対する「感謝祭」を開催してそこに招くなど、大統領が訪問しやすい環境整備などに取り組まないのか。

答 アメリカ大統領の長崎訪問については、文書で直接要請するほか、いろいろな機会をとらえて要請してきた。

また、長崎訪問の実現には訪問しやすい環境の整備も重要であり、これまでも、姉妹都市との市民交流や、駐日米国大使の被爆者との交流などを行い相互理解を深めてきた。

今後とも、このような交流を通して、日米の相互理解を深め、来年予定されているサミットや2020年の東京オリンピックなどの機会をとらえて、実現に向けて取り組んでいきたい。



▲8月9日平和祈念式典の様子

◎ 平成26年度決算の常任委員会における審査の主な内容 ◎

一般会計・特別会計等の各会計決算について、議会は予算目的に沿って適切に執行されたかどうかを毎年度、審査します。本年度は、教育厚生（※）、環境経済、建設水道委員会が10月22日、23日、総務委員会が11月2日、4日に決算審査を行いました。

総務委員会

総務費において、職員研修のあり方と職場のチームワークを醸成するための取り組み、未収金対策に係る滞納者への対応、自治会加入率の向上策、総合支所設置の検討がされている理由、地域おこし協力隊事業の成果と定住支援の実績について審査しました。

さらに、総合的な問題として、増加する扶助費の今後の見通しと財源の考え、今後の各種大型事業の実施を控え、必要な財源を積極的に確保していく考え、収入未済額の縮減に向けた具体的取り組み、政策評価における成果指標をより分かりやすく客観的なものとする考え、職員数減少と不祥事発生との関連性について審査しました。

委員会では、職員数を行財政改革の名のもとに削減することは認められないことなどを主な論拠とする反対意見が出された一方、経常収支比率については、健全な財政運営が図れるよう、80%台後半の目標達成に向けて努力してほしい、自治会加入率が減少し、その存在が体をなさないようになる前に抜本的な対策を講じてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、賛成多数で本決算を認定しました。

教育厚生委員会

民生費において、生活保護担当職員の不適正な事務処理が明らかとなりました。理事者からは、生活保護費を支出するに当たり、上司の印鑑の無断使用や不正な保護決定調書を作成し、一部廃棄があったとの説明がありました。委員会では、今回の不適正な事務処理を避けなかった理由及び再発防止に向けた今後の取り組みなどについて審査しました。

その結果、今回判明した事案は、支給額の多寡にかかわらず、適正な事務処理のもとに支出されたものとは言い難く、組織的なチェック体制が機能していないことから到底認められないこと、また、市民の信頼回復のためにも、今回のような事案が二度と起こることがないよう、チェック体制の強化、相談しやすい職場環境づくり、管理職の指導力向上などの再発防止策を徹底すべきであることなどの反対意見が出され、全会一致で本決算を不認定としました。

環境経済委員会

総務費において、公会堂廃止に伴うブリックホールの優先利用の予約取得

状況などについて審査しました。

次に、衛生費において、インフレスライド条項の適用により増額した新西工場建設事業費について、下請労働者への賃金の支払いの確認状況について審査しました。

次に、商工費において、雇用奨励金の不用額の内訳とその理由、撤退したアンテナショップ「キトラス」事業の検証、MICE事業の市民周知に要した費用と取り組みへの評価、各種観光施設の入場者数に対する管理運営費の妥当性について審査しました。

委員会では、大型事業を控える中、MICE施設への多額の税金の投入は、暮らしや福祉の充実の妨げになるなどの反対意見が出されました。

一方、賛成の立場から、長崎国際観光コンベンション協会への補助金の本市の負担のあり方とさるる事業の費用対効果を検証してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、賛成多数で本決算を認定しました。

建設水道委員会

総務費において、用地取得費の不用額が高額となっている理由について審査しました。

次に、土木費において、フリーゲージ

ジトレインの試験走行が中断していることによる、全線フル規格化も含めた今後の見通しや、斜面市街地再生事業における各地区の整備が、事業期間内に完了する見込みなどについて審査しました。

委員会では、用地買収交渉の難航により不用額が発生しているため、関係部署との連携や、人員補強、専門職の配置を行い、用地交渉力を向上させることにより、事業年度内完成による不用額の圧縮に努めてほしい、道路計画や新幹線建設にあたっては、本市が原因で完成が遅れることがないよう、国、県や他の自治体、JR等と一体となつて十分な連携を図りながら進めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、異議なく本決算を認定しました。



▲フリーゲージトレイン試験車両

(※) 教育厚生委員会は、10月28日（予備日）も審査を行いました。

決算議案の議決結果

閉会中の各常任委員会に付託されていた平成26年度長崎市一般会計歳入歳出決算等15議案は、11月27日の本会議でそれぞれ議決しました。

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第136号	平成26年度長崎市水道事業会計決算	建設水道	認定
第137号	平成26年度長崎市下水道事業会計決算	〃	〃
第160号	平成26年度長崎市一般会計歳入歳出決算	所管の各常任委員会	不認定
第161号	平成26年度長崎市観光施設事業特別会計歳入歳出決算	環境経済	認定
第162号	平成26年度長崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第163号	平成26年度長崎市土地取得特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第164号	平成26年度長崎市中央卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	環境経済	〃
第165号	平成26年度長崎市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第166号	平成26年度長崎市財産区特別会計歳入歳出決算	総務	〃
第167号	平成26年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第168号	平成26年度長崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
第169号	平成26年度長崎市生活排水事業特別会計歳入歳出決算	建設水道	〃
第170号	平成26年度長崎市診療所事業特別会計歳入歳出決算	教育厚生	〃
第171号	平成26年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
第172号	平成26年度長崎市立病院機構病院事業債管理特別会計歳入歳出決算	〃	〃

行政視察

各特別委員会及び議会運営委員会の付託案件調査事項について、次のとおり行政視察を行いました。

委員会名	派遣委員	出張期間	調査都市等・主な項目
地方創生対策特別委員会	筒井 正興、後藤 昭彦 幸 大助、中里 泰則 平野 剛	10月13日～15日	牧之原市：地方創生への取り組み 高松市：地方創生への取り組み
	相川 和彦、岩永 敏博 中西 敦信、中村 照夫 久 八寸志、深堀 義昭 福澤 照充	10月14日～16日	まち・ひと・しごと創生本部： まち・ひと・しごと創生における取り組み等 金沢市：地方総合戦略の概要及び取り組み 総務省：総務省としての地方創生への取り組み等
世界遺産・観光客受入対策特別委員会	林 広文、大石ふみき 橋本 剛、向山 宗子 吉原 孝	10月14日～16日	北九州市：世界遺産登録に伴う観光客の受入対策 萩市：世界遺産登録に伴う観光客の受入対策 姫路市：世界遺産登録後の課題と現状など
	木森 俊也、板坂 博之 井上 重久、梅原 和喜 佐藤 正洋	10月14日～16日	静岡市：世界遺産登録に伴う観光客の受入対策 京都市：観光客の増加に伴う影響と対策
長崎駅周辺再整備特別委員会	中村 俊介、奥村 修計 永尾 春文、野口 達也 馬場 尚之、山崎 猛	10月14日～16日	北斗市：新函館北斗駅周辺整備 青森市：新幹線開通に伴う新青森駅周辺整備など
	堤 勝彦、浅田 五郎 内田 隆英、 山口 まさよし	10月13日～15日	姫路市：姫路駅周辺整備事業 富山市：富山駅周辺整備事業 さいたま市：新幹線に関する技術の変遷と今後の展開
議会運営委員会	浦川 基継、池田 章子 五輪 清隆、武次 良治 山本 信幸、吉原日出雄 毎熊 政直、西田みのぶ	9月28日～30日	前橋市：議会活性化に向けた取り組み状況 八戸市：議会活性化に向けた取り組み状況

総務委員会

長崎市池島炭鉱体験施設条例を可決

本条例は、日本の近代化以降の発展を支えてきた池島炭鉱の現場を体験する場を提供し、もって観光の振興及び池島の地域振興に資するため、「長崎市池島炭鉱体験施設」を設置しようとするものです。

委員会では、現行の料金から改定となる施設使用料の設定根拠、施設で働く誘導員等の人件費の積算、閉山から14年が経過する中、修学旅行者も訪れることから、安全対策の考え方、仮に台風等で施設が大きく損傷し、大規模改修が必要となった場合の費用負担、世界遺産と同様に大々的にPRすることで利用者をふやし、より大きな事業へと成長させる考え、供用開始と併せて民泊を活用し、NPO法人の立ち上げや育成と一体的に取り組む考え、池島の活性化及び土地の有効活用の観点から、国の機関や関連施設の誘致へ向けた交渉を進めることへの見解についてなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲池島炭坑さるく

教育厚生委員会

日吉自然の家条例を可決

本条例は、豊かな自然環境の中での集団宿泊生活及び野外活動を通じて少年の健全な育成を図るとともに、自然に親しむ機会を提供することにより市民の生涯学習の振興を図るため、日吉自然の家を設置し、平成29年度からは、指定管理者制度を導入しようとするものです。

委員会では、低廉な使用料を設定し、大きな収入が見込めないにも関わらず、利用料金制を導入することの妥当性、指定管理者を公募で選定することに対し、非公募にする考えの有無についてなど、内容検討の結果、子どもたちを中心に市民が利用する当施設は、市の直営であるべきものであり、指定管理者による運営を行うこととは認められないとの反対意見が出されました。

一方、農業体験等、これまで地元と協議し、準備を進めてきたことを生かせるよう、指定管理者の募集要項等の作成に取り組んでほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

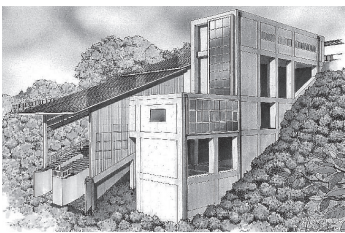
環境経済委員会

平成27年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算第3号を可決

今回の補正は、長崎ロープウェイ稲佐岳駅舎のエレベーター設置に係る増築工事において、設計地盤面と現況地盤面が大きく異なったことにより、工事終了時期を延長し、増額補正を行うものです。

委員会では、設計地盤面の設定の考え方と、市と設計業者の責任の所在などについて慎重に審査しました。さらに、加藤副市長に出席を求め、不祥事が相次いでいることに対する見解と今後の決意を確認しました。その結果、安易な判断による設計であり、否決すべきであるが、バリアフリー対応が必要な観光客のため、苦渋の選択により賛同したいなどの賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。

なお、体制整備や人材育成による再発防止を求める附帯決議を全会一致で可決しました。



▲稲佐岳駅舎完成イメージ

建設水道委員会

平成27年度長崎市土地取得特別会計補正予算(第1号)

今回の補正は、交流拠点施設用地の一部として活用する予定の長崎駅西側の土地に隣接する場所に仮換地指定されている小規模地権者の仮換地を先行取得しようとするものです。

委員会では、小規模地権者が存在することを、平成26年度に交流拠点施設用地を購入する際に議会に説明しなかつた理由や、長崎駅周辺土地区画整理事業における仮換地指定の状況、交流拠点施設用地に新市庁舎を建設する可能性の有無についてなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲JR長崎駅西側の交流拠点施設用地

11月定例会の議決結果

平成27年第6回定例会は、11月27日から12月16日まで開かれ、市長提出議案46件、議員提出議案の意見書2件について、それぞれ審議決定しました。そのほか、専決処分の報告6件などがありました。

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
第174号	公平委員会の委員の選任について	付託省略	同意
第175号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	〃	〃
第176号	平成27年度長崎市一般会計補正予算（第5号）	所管の各常任委員会	原案可決
第177号	平成27年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第3号）	環境経済	〃（※）
第178～185号	平成27年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算（第4号）ほか特別会計5件 企業会計2件	所管の各常任委員会	〃
第186号	日吉自然の家条例	教育厚生	〃
第187号	長崎市立認定こども園長崎幼稚園条例	〃	〃
第188号	長崎市池島炭鉱体験施設条例	総務	〃
第189号	長崎市事務分掌条例の一部を改正する条例	〃	〃
第190号	長崎市建築審査会条例の一部を改正する条例	建設水道	〃
第191号	長崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	総務	〃
第192号	長崎市情報公開条例の一部を改正する条例	〃	〃
第193号	長崎市婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃
第194号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	〃	〃
第195号	長崎市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第196号	長崎市手数料条例の一部を改正する条例	〃	〃
第197号	長崎市立幼稚園条例の一部を改正する条例	教育厚生	〃
第198号	長崎市子どもを守る条例の一部を改正する条例	〃	〃
第199号	長崎市印鑑条例の一部を改正する条例	総務	〃
第200号	長崎市体育館条例の一部を改正する条例	〃	〃
第201号	長崎市伊王島セントロ・クートラル条例を廃止する条例	教育厚生	〃
第202号	長崎市ねたきり老人医療費支給条例を廃止する条例	〃	〃
第203号～208号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市南部市民センター）ほか5件	所管の各常任委員会	〃
第209号	地方独立行政法人長崎市立病院機構定款の変更について	教育厚生	〃
第210号	地方独立行政法人長崎市立病院機構中期計画の変更の認可について	〃	否決
第211号	地方独立行政法人長崎市立病院機構第2期中期目標について	〃	原案可決
第212号	法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について（史跡シーボルト宅跡の樹木の管理瑕疵による損害賠償）	環境経済	〃
第213号	公有水面埋立てに関する意見について（京泊3丁目）	〃	〃
第214号	工事の請負契約の一部変更について（市道江保崎線（琴海大橋）既設下部撤去及び新橋下部工事）	建設水道	〃
第215号	平成27年度長崎市一般会計補正予算（第6号）	所管の各常任委員会	〃
第216号	平成27年度長崎市診療所事業特別会計補正予算（第2号）	教育厚生	〃
第217号	工事の請負契約の一部変更について（長崎ロープウェイ稲佐岳駅舎増築ほか主体工事）	環境経済	〃
第218号	公の施設の指定管理者の指定について（長崎市松山町駐車場）	建設水道	〃
第219号	市長及び副市長の給与に関する条例及び長崎市上下水道事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例	付託省略	〃
議第6号	教育現場の実態に即した教職員定数の充実等に関する意見書について	〃	可決
議第7号	九州新幹線西九州ルートの整備促進に関する意見書について	〃	〃

（※）環境経済委員会において附帯決議を可決。

全ての議決結果は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。

9月1日	<p>○9月定例会開会（～9月18日まで）</p> <p>⑥正副議長及び各会派の代表者が、市長に市民の信頼回復に向けた取り組みを求める申し入れを実施</p>	<p>⑥</p>  <p>市民の信頼回復に向けた取り組みを求める申し入れの様子</p>
9月16日	<p>⑦正副議長及び総務委員会正副委員長が、市長に「都市計画税の課税誤り」に対して適切な対応を求める申し入れを実施</p>	<p>⑦</p>  <p>「都市計画税の課税誤り」に対して適切な対応を求める申し入れの様子</p>
9月18日	<p>○総額3億9,384万8千円の平成27年度長崎市一般会計補正予算（第3号）を可決</p> <p>【市長提出議案30件について審議決定。】</p> <p>○長崎市よかまちづくり基本条例を可決</p> <p>○長崎市野母崎海の健康村条例の一部を改正する条例を可決</p> <p>○「マイナンバー制度」と「被用者年金制度の一元化」について議員研修を実施</p>	<p>⑧</p>  <p>（仮称）大村湾横断浮橋架橋に関する申し入れの様子</p>
10月1日	<p>○議会事務局Facebookと調査資料報が、2015マニフェスト大賞において、コミュニケーション・ネット選挙戦略賞部門の優秀賞を受賞</p>	<p>⑨</p>  <p>長崎新幹線整備促進議員連盟の設立総会</p>
10月5日	<p>○10月臨時会開会（会期1日）</p> <p>○総額1,390万9千円の平成27年度長崎市一般会計補正予算（第4号）を可決</p> <p>【市長提出議案1件について審議決定。】</p>	<p>⑩</p>  <p>九州新幹線西九州ルートの整備促進に係る要望活動</p>
10月7日	<p>○セントポール市公式訪問団歓迎のため、全員協議会を開催</p>	
10月22日	<p>○平成26年度一般会計、各特別会計及び各企業会計に係る決算議案を審査 教育厚生員会※、環境経済委員会、建設水道委員会 （10月22日～23日）</p> <p>※教育厚生委員会のみ、10月28日も審査 総務委員会 （11月2日、11月4日）</p>	
11月9日	<p>○副議長ほか13名の議員が、福州市友好都市提携35周年記念公式訪問団に参加（11月13日まで）</p>	
11月20日	<p>⑧佐藤正洋会長をはじめとした長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟が、市長に対し（仮称）大村湾横断浮橋架橋に関する申し入れを実施</p>	
11月27日	<p>○11月定例会開会（～12月16日まで）</p>	
12月16日	<p>○総額22億6,389万4千円の平成27年度長崎市一般会計補正予算（第5号）を可決</p> <p>○総額2,761万3千円の平成27年度長崎市一般会計補正予算（第6号）を可決</p> <p>（市長提出議案42件、議員提出議案の意見書2件について、それぞれ審議決定。）</p> <p>○地方独立行政法人長崎市立病院機構中期計画の変更の認可についてを否決</p> <p>⑨長崎新幹線整備促進議員連盟を発足（会長 板坂博之議員）</p>	
12月21日	<p>⑩議長ほか、長崎新幹線整備促進議員連盟の役員3名が、長崎県議会、諫早市議会及び大村市議会と合同で、九州新幹線西九州ルートの整備促進に係る要望活動を実施（～12月22日まで）</p>	

平成27年の長崎市議会

<p>①</p>  <p>毎熊政直議長就任の挨拶</p>	<p>2月20日</p> <p>3月13日</p>	<p>○2月定例会開会（～3月13日まで）</p> <p>○人口減少・高齢化対策特別委員会、都市再生・財政問題特別委員会、世界遺産推進特別委員会の調査終了に伴い、各特別委員長が調査結果を本会議に報告</p> <p>○総額2,141億8千万円の平成27年度長崎市一般会計当初予算を可決 〔市長提出議案101件、議員提出議案の条例1件について、それぞれ審議決定。〕</p> <p>○交流拠点施設用地に関する「土地の取得について」を可決</p>
<p>②</p>  <p>西田みのぶ副議長就任の挨拶</p>	<p>4月26日</p> <p>4月28日</p> <p>5月13日</p>	<p>○長崎市議会議員一般選挙及び長崎市長選挙</p> <p>○当選証書付与式</p> <p>○5月臨時会開会</p> <p>①長崎市議会議長選挙により、第53代長崎市議会議長に毎熊政直議員を選出</p> <p>②長崎市議会副議長選挙により、第59代長崎市議会副議長に西田みのぶ議員を選出</p> <p>○常任委員会及び議会運営委員会の委員を選任</p> <p>○監査委員の選任に同意 中村照夫、平野 剛</p> <p>○農業委員会委員の推薦を決定 浅田五郎、五輪清隆、堤 勝彦、永尾春文</p> <p>○長崎県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出 井上重久、中村照夫、林 広文、毎熊政直</p>
<p>③</p>  <p>第90回九州市議会議長会定期総会</p>	<p>6月4日</p> <p>6月19日</p>	<p>③第90回九州市議会議長会定期総会（会長 毎熊 政直長崎市議会議長）を開催</p> <p>○6月定例会開会（～7月8日まで）</p>
<p>④</p>  <p>世界遺産登録決定後のパブリックビューイング</p>	<p>6月25日</p> <p>6月29日</p> <p>7月5日</p> <p>7月8日</p>	<p>○長崎市議会スポーツ振興議員連盟（会長 浅田五郎議員）、長崎市議会大村湾横断浮橋架橋推進議員連盟（会長 佐藤正洋議員）を発足</p> <p>○地方創生対策特別委員会、世界遺産・観光客受入対策特別委員会、長崎駅周辺再整備特別委員会を設置</p> <p>④「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録決定</p> <p>○平成27年度長崎市一般会計補正予算（第2号）を総額6億6,845万2千円に修正可決</p>
<p>⑤</p>  <p>「被爆体験者の救済」についての要望活動</p>	<p>7月9日</p> <p>8月20日</p>	<p>○長崎市立小学校条例の一部を改正する条例を修正可決 〔市長提出議案25件について、議員提出議案の規則1件、意見書2件、決議1件について、それぞれ審議決定。〕</p> <p>⑤毎熊政直議長と西田みのぶ副議長をはじめとした原援協の委員が、「被爆体験者の救済」について、要望活動を実施（～7月10日まで）</p> <p>○議長ほか4名の議員が、セントポール姉妹都市提携60周年記念公式訪問団に参加（8月25日まで）</p>

全員協議会の開催

10月7日に、日本初の姉妹都市提携を行ったセントポール市の公式訪問団を歓迎するため、全員協議会を開催しました。

今年には提携60周年記念にあたり、クリス・コーラン、セントポール市長や、アメリカ合衆国政府を含む、総勢24名の皆様にお越しいただきました。



▲全員協議会終了後の記念写真

議員提出議案

11月定例会において議員提出議案の意見書2件を可決し、国会及び関係行政庁に提出しました。

▼教育現場の実態に即した教職員定数の充実等に関する意見書

▼九州新幹線西九州ルート整備促進に関する意見書

陳情

11月定例会中に委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

▼防災工事に関する陳情

▼人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定についての意見書提出を求める陳情
▼(仮称)大村湾横断浮橋架橋に関する陳情

▼子どもの医療費助成制度の拡充を求める陳情

人事

11月定例会で、次の人事案件について同意することに決定しました。

▼公平委員会の委員の選任

柴田浩一氏(新任)

▼固定資産評価審査委員会の委員の選任

園田英昭氏(新任)

11月定例会で、選挙管理委員会の委員及び補充員について、指名推選の方法による選挙を行い、次の方々を選出しました。なお、委員が辞職された場合は、補充員が補欠されます。

▼選挙管理委員会委員

國弘達夫氏(新任)

源城和雄氏(新任)

林田耕一氏(再任)

岩田純一氏(再任)

▼選挙管理委員会補充員

梅本國和氏(新任)

富川忠孝氏(新任)

津村國弘氏(新任)

中野吉邦氏(再任)

議員派遣

▼公職研修企画・実施の「欧州専門調査」に議員を派遣しました。

・派遣期間 平成27年11月1日～7日

・派遣議員 吉原日出雄
・派遣場所 イギリス
▼公職研修企画・実施の「北欧社会サービス総合コース」に議員を派遣しました。

・派遣期間 平成27年11月8日～14日
・派遣議員 池田章子

・派遣場所 スウェーデン・フィンランド

▼福州市友好都市提携35周年記念公式訪問団として議員を派遣しました。

・派遣期間 平成27年11月9日～13日
・派遣議員 五輪清隆、井上重久

岩永敏博、武次良治

永尾春文、林広文

平野剛

・派遣場所 福州市・上海市

マニフェスト大賞 優秀賞受賞 しました。

マニフェスト大賞は、2015マニフェスト大賞実行委員会が主催する地方自治体の首長、議会や市民の活動等に対する表彰です。

長崎市議会事務局から「フェイスブック」及び「調査資料報」の取り組みについて、応募したところ、コミュニケーション・ネット選挙戦略賞部門の優秀賞に選出されました。

今後とも、議会の積極的な情報発信に努めてまいります。



●ぜひ議会の傍聴へ！●

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、本会議は本会議場入口で、委員会は議会事務局総務課で、受付簿に氏名・住所をご記入ください。

2月定例会の予定

2月	19日(金)	本会議(招集日)
	24日(水)～26日(金) 29日(月)	本会議(一般質問)(4日)
3月	1日(火)～4日(金) 7日(月)～9日(水)	常任委員会(7日) ※3月1日は長商卒業式のため 午後1時から開催予定
	11日(金)	本会議(委員長報告等)

※日程は変更となる場合があります。

長崎市議会事務局
facebook



平日は毎日更新中!



[QRコード]